

**平成15年度 第2回  
発注企業動向調査  
結果報告書**

**平成15年11月  
財団法人京都産業21**

## 調査結果の概要

### 売上げについて

#### 売上状況について

「増加」が 35.5%と 9.4 ポイント減少する一方で、「減少」が 28.9%で 18.8 ポイント増加しているものの、「増加」が「減少」を上回っており、緩やかな回復傾向が見られる。

#### 今後の売上の見通しについて

平成 15 年度下期においては「増加」と見通すものが 42.1%で「減少」(9.2%)を大幅に上回っている。平成 16 年度上期においても、「増加」が 23.7%で「減少」(10.5%)を上回っているものの、慎重な見通しとなっている。

### 外注について

#### 外注利用状況について

前回調査と比較して、「増加」が 30.3%で 5.9 ポイント減少し、「減少」が 22.4%で 3.6 ポイント増加しており、増加が減少を上回ってはいるものの、依然として厳しい状況が見られる。

#### 今後の外注見通しについて

平成 15 年度下期においては「増加」の見通しが 34.2%で「減少」(11.8%)を上回っている。平成 16 年度上期においても、同様に「増加」が「減少」を上回っているものの、鈍化に見通しが支配的。

#### 年間の総外注費及び京都府内の割合について

2 割余りが京都府内の企業に外注されており、業種別では、金属製品(41.0%)が 4 割、一般機器(53.5%)では 5 割以上を京都府内に外注している。

### 外注企業に望む能力について（品質）

「要求どおりの加工精度」との回答が 25.0%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が 18.4%、「工程管理の強化」が 16.7%、「検査体制の強化」14.5%、「VE/VA 提案も含めた体制強化」が 12.7%となっており、前回調査と比べて大きな変化は見られない。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定のための検査体制、工程管理の強化を求めているようである。

### 外注企業に望む能力について（コスト）

「発注内容に応じたコスト対応」との回答が 23.9%と最も多く、次いで「市場価格への対応」が 19.0%、「VE/VA 提案によるコスト提案」が 15.2%となっている。

市場価格が一段と低下する中で、発注企業のコスト意識が厳しくなっており、外注企業には厳しいコスト対応が要求されるとともに、コスト低減のための提案も期待されているようである。

### 外注企業に望む能力について（納期）

「状況に応じた柔軟な納期対応」が 46.8%と最も高く、次いで「納期管理、在庫管理能力の強化」が 23.8%で、「ジャストインタイムへの対応」が 22.2%となっている。

外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

### 新規外注先企業の情報収集について

「下請企業からの営業活動」との回答が 35.7%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が 16.8%となっている。

現状では、外注企業自身の積極的な営業活動の重要性を示す結果となっており、受注企業の積極的な情報発信（企業名簿等への掲載、各種展示会への出展を含む）が重要であることがうかがえる。

### 新規外注先企業の開拓について

新規外注先を「探している」「将来的に探している」とする企業が 4 割近くを占めている。

業種別では、「将来的に探している」ものを含めて、一般機器では 5 割の企業が、精密機器では 4 割余りの企業が、新規外注先をさがしている。

# 1. 調査概要について

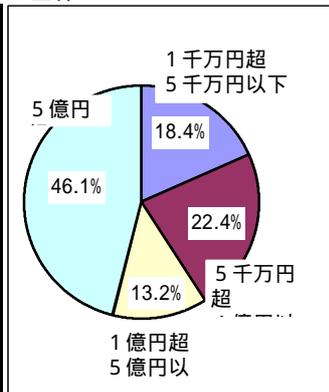
- (1) 調査目的 財団に登録する発注企業の動向を把握し、情報として提供することで、府内の下請企業の経営計画策定の一助とするともより効果的な受注活動等の促進を図り、併せて財団におけるあっせん業務の円滑化を図る。
- (2) 調査対象企業 財団に登録する機械金属関連発注企業 138 社
- (3) 調査時期 平成 15 年 9 月末現在 \* 調査回収締切：11 月 24 日
- (4) 調査回収企業 76 社 (回収率： 55.1 %)
- 内訳 金属製品 14 社 (19.4%) 一般機器 25 社 (34.7%) 電気機器 14 社 (18.4%)  
 輸送用機器 7 社 (9.7%) 精密機器 12 社 (16.7%)

## 【業種別資本金別回収企業数】

上段：企業数、下段：比率

	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
1千万円超	14	3	5	3	0	3
5千万円以下	18.4%	21.4%	19.2%	17.6%	0.0%	25.0%
5千万円超	17	2	6	5	1	3
1億円以下	22.4%	14.3%	23.1%	29.4%	14.3%	25.0%
1億円超	10	2	4	1	1	2
5億円以下	13.2%	14.3%	15.4%	5.9%	14.3%	16.7%
5億円超	35	7	11	8	5	4
	46.1%	50.0%	42.3%	47.1%	71.4%	33.3%
合計	76	14	26	17	7	12
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## 【業種別資本金別回収企業数】全体

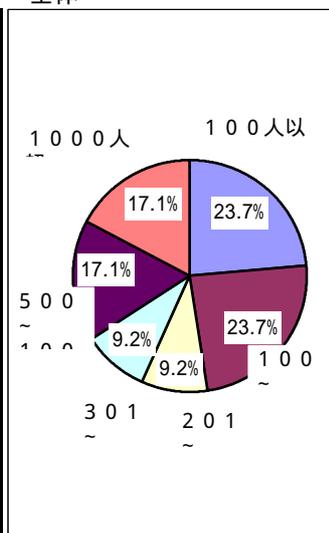


## 【業種別従業員別回収企業数】

上段：企業数、下段：比率

	全体	金属製品	一般機械	電気機器	輸送用機器	精密機器
1000人以上	18	6	8	1	1	2
	23.7%	42.9%	30.8%	5.9%	14.3%	16.7%
101~200人	18	4	7	4	1	2
	23.7%	28.6%	26.9%	23.5%	14.3%	16.7%
201~300人	7	0	3	2	1	1
	9.2%	0.0%	11.5%	11.8%	14.3%	8.3%
301~500人	7	1	4	0	0	2
	9.2%	7.1%	15.4%	0.0%	0.0%	16.7%
501~1000人	13	2	3	2	3	3
	17.1%	14.3%	11.5%	11.8%	42.9%	25.0%
1000人以上	13	1	1	8	1	2
	17.1%	7.1%	3.8%	47.1%	14.3%	16.7%
合計	76	14	26	17	7	12
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

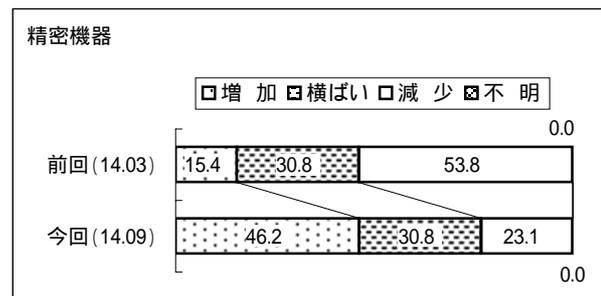
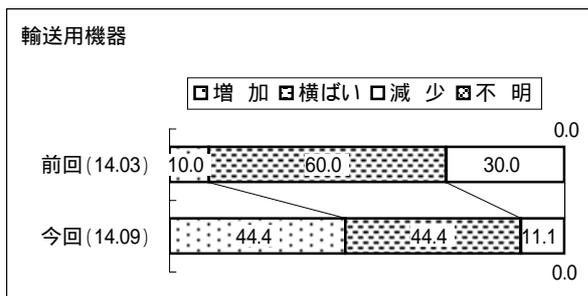
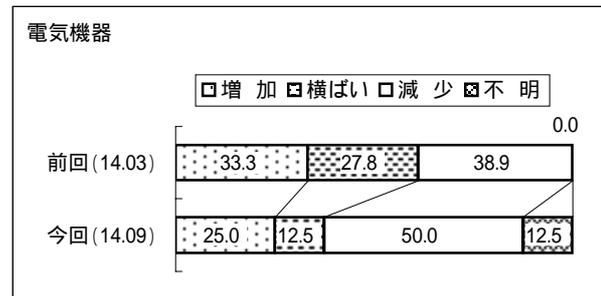
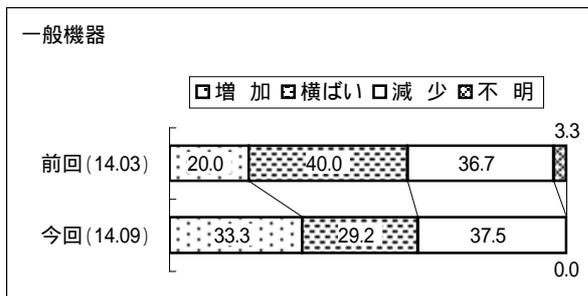
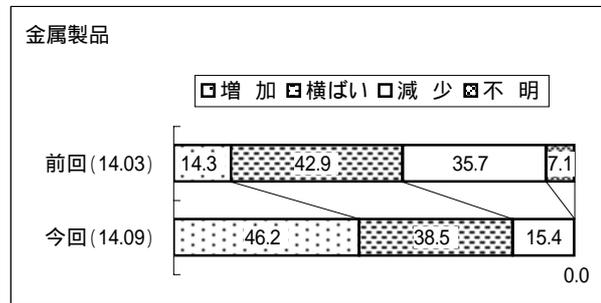
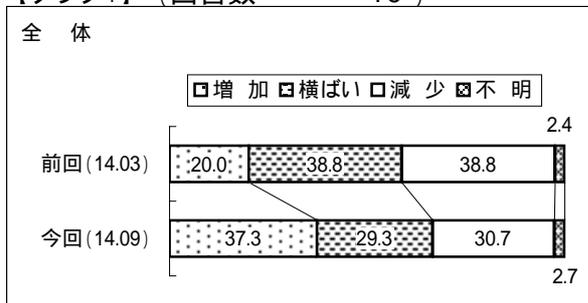
## 【業種別従業員別回収企業数】全体



## 2. 売上について

### (1)平成14年度「上期」(14.04～14.09)と平成13年度「下期」(13.10～14.03)の売上額の比較

【グラフ1】 (回答数 75)



\*業種別回答数

14年度上期	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	28	6	8	4	4	6
横ばい	22	5	7	2	4	4
減少	23	2	9	8	1	3
不明	2	0	0	2	0	0
合計	75	13	24	16	9	13

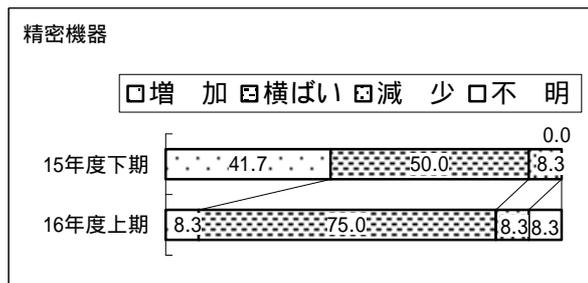
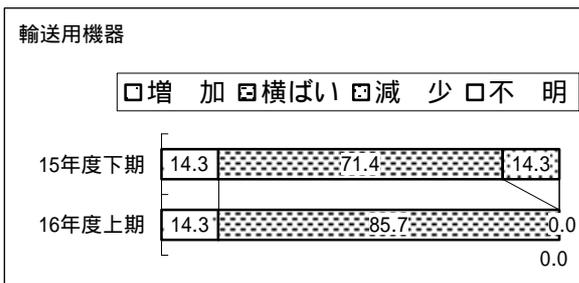
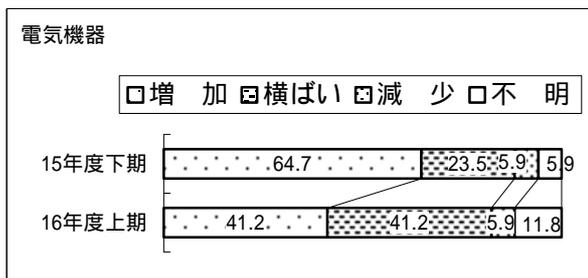
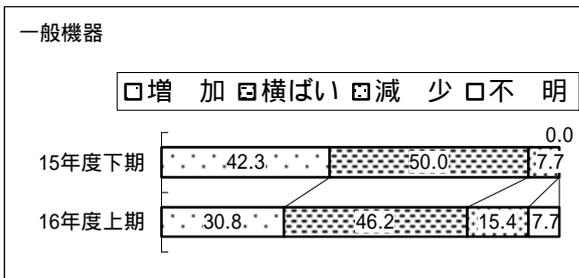
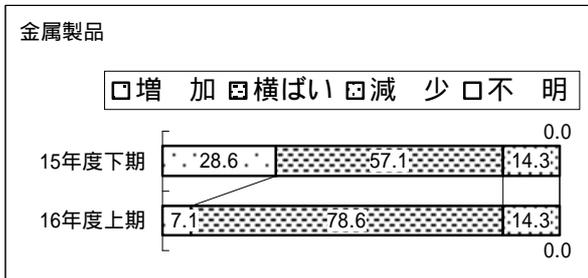
#### 【売上状況の比較について】

全体では、前回調査と比較して、「増加」が37.3%と17.3ポイント増加する一方で、「減少」が30.7%で8.1ポイント減少しており、増加傾向が見られる。

業種別に見ると、電気機器を除く全業種で増加傾向が見られる。

( 2 ) 15年度の「下期」(15.10～16.03)及び16年度「上期」(16.04～16.09)の売上の見通し

【グラフ2】 ( 回 76 )



\* 業種別回答数

15年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	32	4	11	11	1	5
横ばい	36	8	13	4	5	6
減少	7	2	2	1	1	1
不明	1	0	0	1	0	0
合計	76	14	26	17	7	12

\* 業種別回答数

16年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	18	1	8	7	1	1
横ばい	45	11	12	7	6	9
減少	8	2	4	1	0	1
不明	5	0	2	2	0	1
合計	76	14	26	17	7	12

【売上の見通しについて】

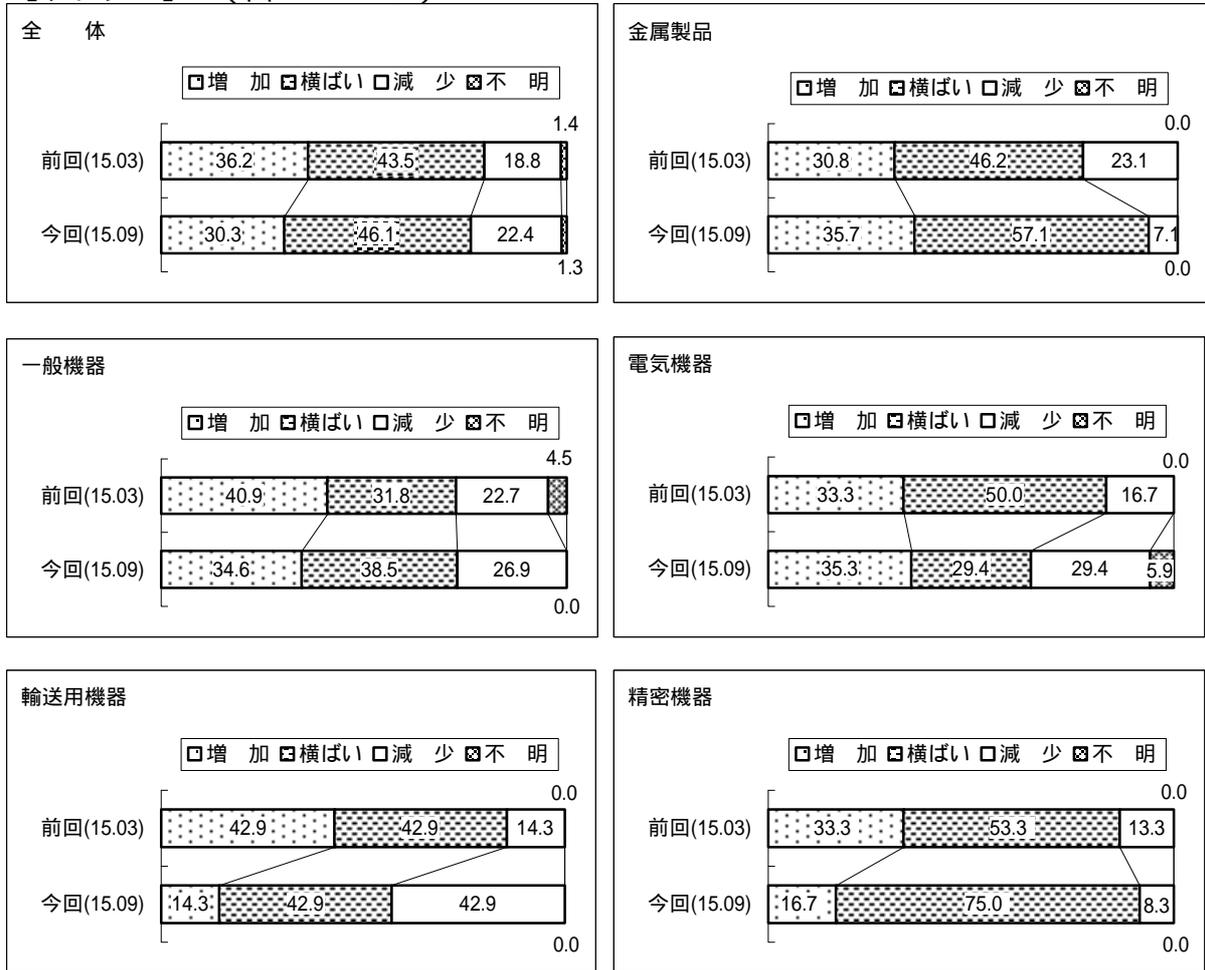
全体では、平成15年度下期においては「増加」と見通すものが42.1%で「減少」(9.2%)を大幅に上回っている。平成16年度上期においても、「増加」が23.7%で「減少」(10.5%)を上回っているものの、慎重な見通しとなっている。

業種別では、一般機器、電気機器で比較的回復傾向がうかがわれる結果となっている。

### 3. 外注について

(1) 平成15年度「上期」(15.04～15.09)と平成14年度「下期」(14.10～15.03)の外注額

【グラフ3】 (回 76)



\* 業種別回答数

今回(15.09)	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	23	5	9	6	1	2
横ばい	35	8	10	5	3	9
減少	17	1	7	5	3	1
不明	1	0	0	1	0	0
合計	76	14	26	17	7	12

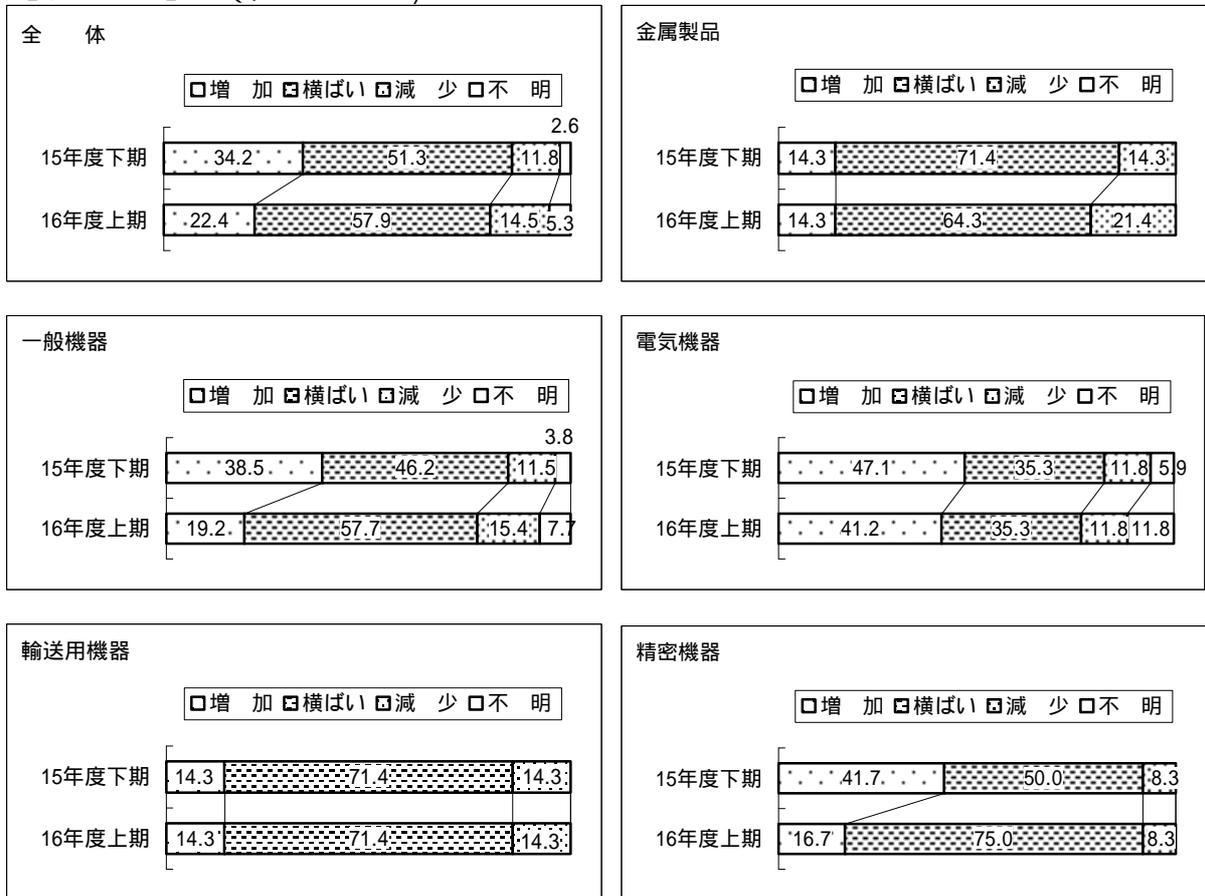
#### 【外注額の比較について】

全体では、前回調査と比較して、「増加」が30.3%で5.9ポイント減少し、「減少」が22.4%で3.6ポイント増加しており、増加が減少を上回ってはいるものの、依然として厳しい状況が見られる。

業種別では、金属製品及び電気機器で増加しているものの、それ以外では減少している。

( 2 ) 15年度の「下期」(15.10～16.03)及び16年度「上期」(16.04～16.09)の外注の見通し

【グラフ4】 ( 回 76 )



\* 業種別回答数

15年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	26	2	10	8	1	5
横ばい	39	10	12	6	5	6
減少	9	2	3	2	1	1
不明	2	0	1	1	0	0
合計	76	14	26	17	7	12

\* 業種別回答数

16年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	17	2	5	7	1	2
横ばい	44	9	15	6	5	9
減少	11	3	4	2	1	1
不明	4	0	2	2	0	0
合計	76	14	26	17	7	12

【外注の見通しについて】

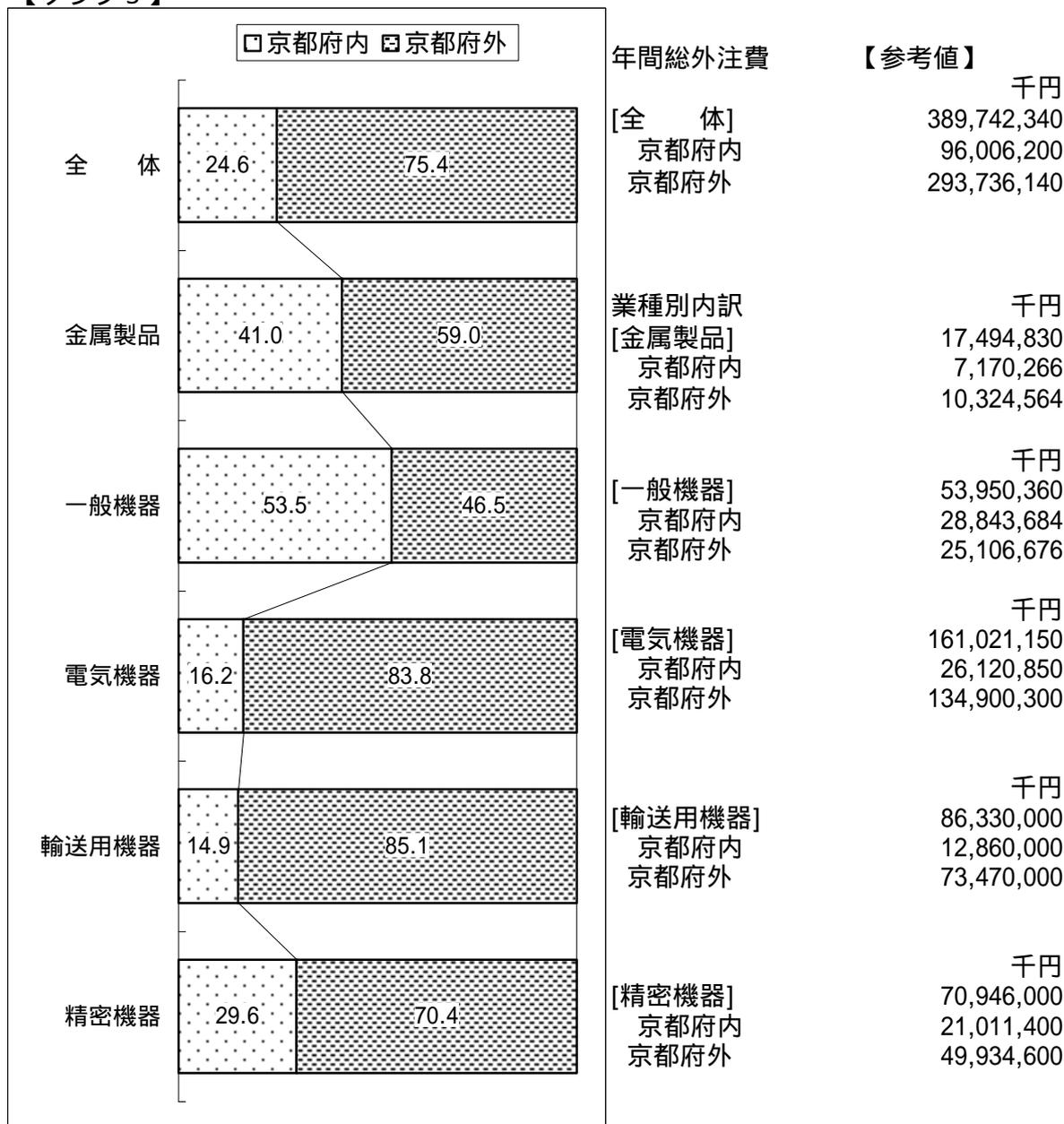
全体では、平成15年度下期においては「増加」の見通しが34.2%で「減少」(11.8%)を上回っている。平成16年度上期においても、同様に「増加」が「減少」を上回っているものの、鈍化に見通しが支配的。

業種別では、金属製品、輸送用機器を除いて、「増加」が「減少」を上回っているが、先行きについては慎重な見通しとなっている。

( 3 ) 15年度の総外注費及び京都府内の企業の割合について

\* 本調査については未回答企業もあるため、調査結果は参考値とする。

【グラフ5】



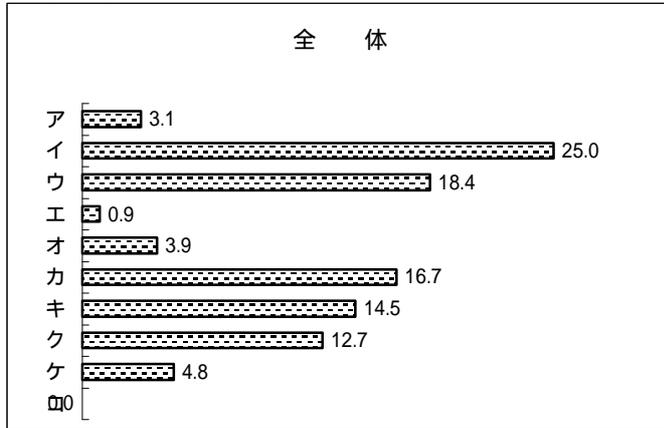
【年間の総外注費及び京都府内の割合について】

全体では、2割余りが京都府内の企業に外注されており、業種別では、金属製品（41.0%）が4割、一般機器（53.5%）では5割以上を京都府内に外注している。電気機器は1割余りとなっている。

なお、本調査については未回答企業もあるため、調査結果は参考値とする。

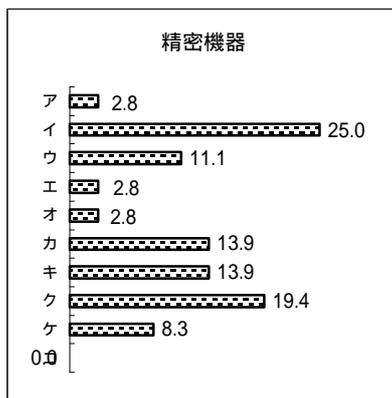
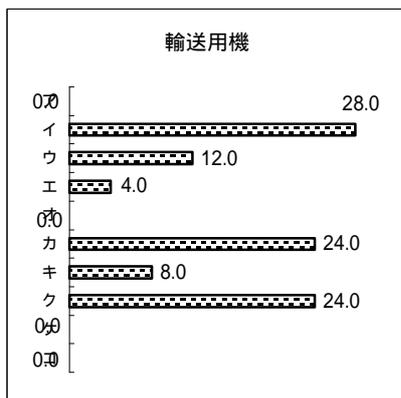
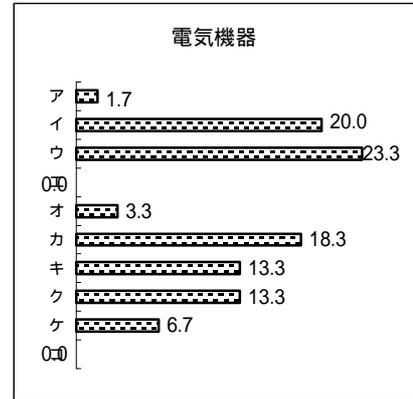
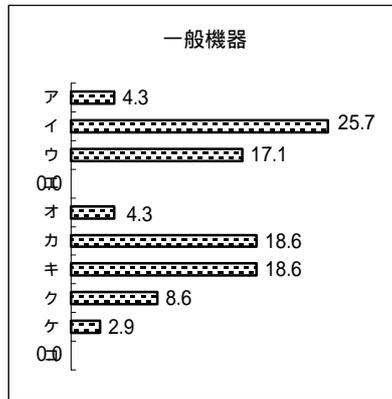
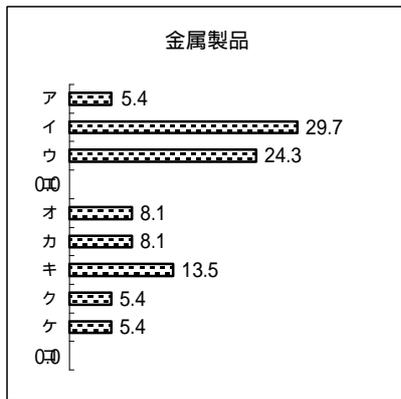
(4) 外注企業に望む能力について

品質について外注企業に望むこと  
【グラフ6】



\* 重複回答 ( 回計数 228 )

グラフの項目	回答数
ア．要求以上の加工精度	7
イ．要求どおりの加工精度	57
ウ．バラツキの無い品質安定度	42
エ．新鋭設備の導入	2
オ．職人（技術者）の育成	9
カ．工程管理の強化	38
キ．検査体制の強化	33
ク．VE/VA提案も含めた体制強化	29
ケ．ISOなどの要求	11
コ．その他	0



\* 業種別回答数

機械製品	37
一般機器	70
電気機器	60
輸送用機器	25
精密機器	36
計	228

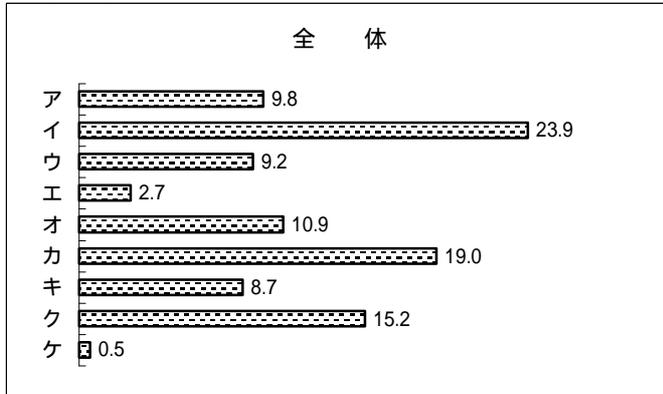
【品質について】

「要求どおりの加工精度」との回答が25.0%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が18.4%、「工程管理の強化」が16.7%、「検査体制の強化」14.5%、「VE/VA提案も含めた体制強化」が12.7%となっており、前回調査と比べて大きな変化は見られない。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定のための検査体制、工程管理の強化を求めているようである。

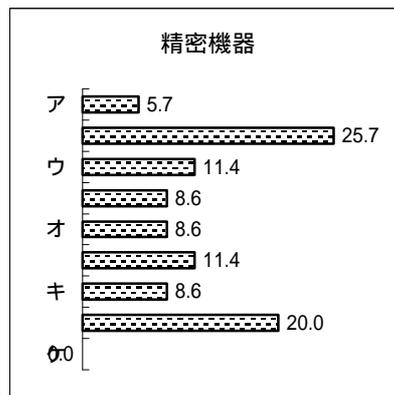
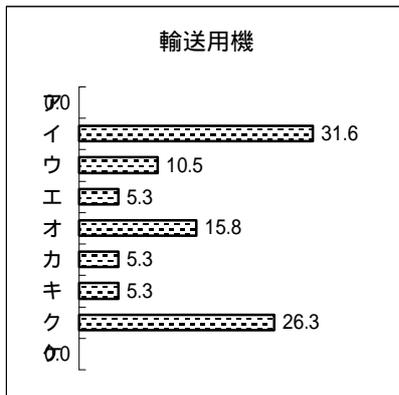
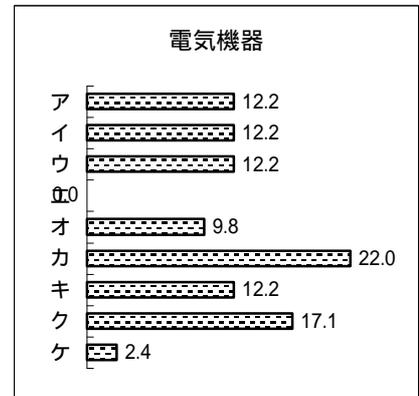
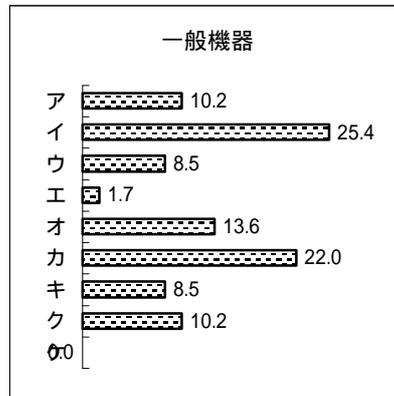
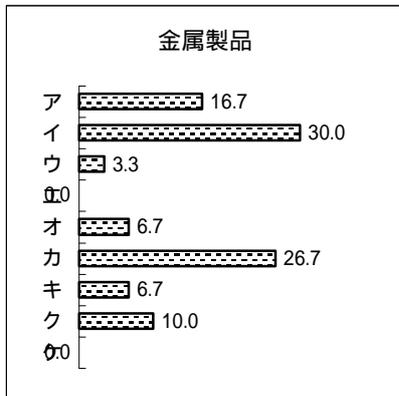
(5) 外注企業に望む能力について

コストについて外注企業に望むこと  
【グラフ7】



\* 重複回答 (回答数 184)

グラフの項目	回答数
ア．要求以上の低コスト対応	18
イ．発注内容に応じたコスト対応	44
ウ．適正な見積書作成能力	17
エ．新鋭設備の導入によるコストダ	5
オ．工程管理の強化によるコストダ	20
カ．市場価格への対応	35
キ．海外調達、進出等による低コスト	16
ク．V E / V A 提案によるコスト	28
ケ．その他	1



\* 業種別回答数

機械製品	30
一般機器	59
電気機器	41
輸送用機器	19
精密機器	35
計	184

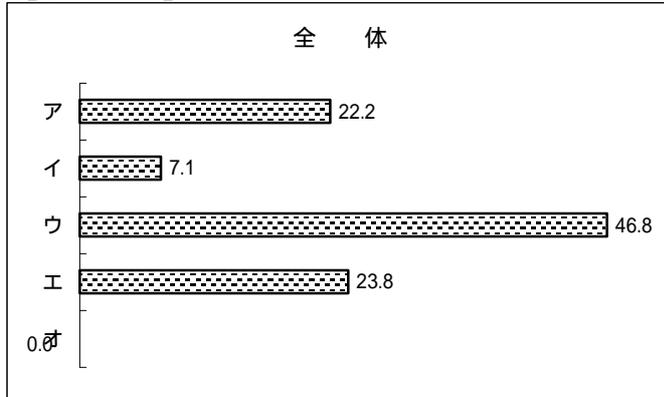
【コストについて】

「発注内容に応じたコスト対応」との回答が23.9%と最も多く、次いで「市場価格への対応」が19.0%、「V E / V A 提案によるコスト提案」が15.2%となっている。

市場価格が一段と低下する中で、発注企業のコスト意識が厳しくなっており、外注企業には厳しいコスト対応が要求されるとともに、コスト低減のための提案も期待されているようである。

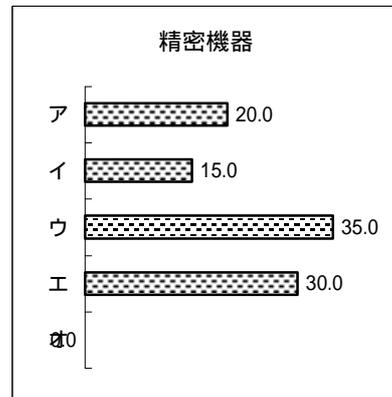
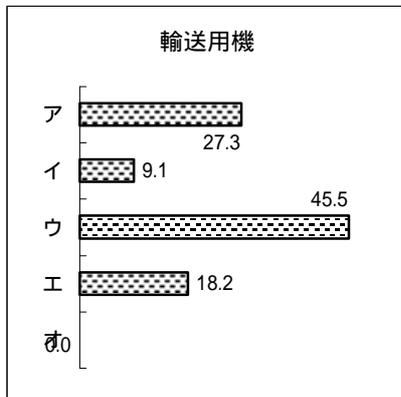
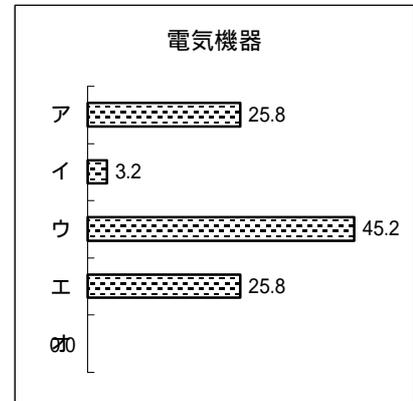
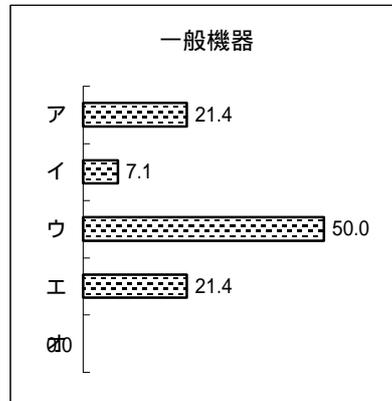
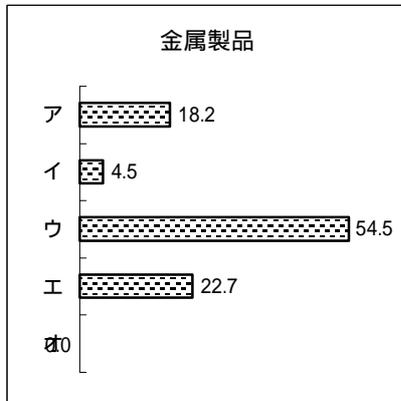
( 5 ) 外注企業に望む能力について

納期について外注企業に望むこと  
【グラフ 8】



\* 重複回答 ( 回答数 126 )

グラフの項目	回答数
ア．ジャストイン・タイムへの対応	28
イ．在庫保有等による対応	9
ウ．状況に応じた柔軟な納期対応	59
エ．納期管理、在庫管理能力の強化	30
オ．その他	0



\* 業種別回答数

機械製品	22
一般機器	42
電気機器	31
輸送用機器	11
精密機器	20
計	126

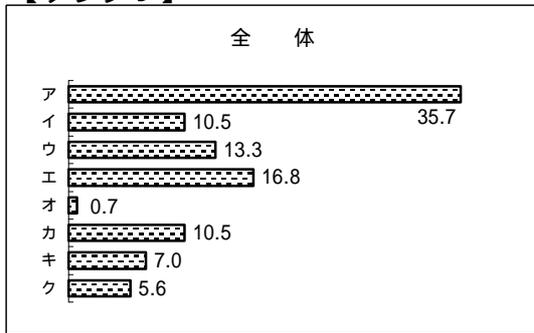
【納期について】

「状況に応じた柔軟な納期対応」が46.8%と最も高く、次いで「納期管理、在庫管理能力の強化」が23.8%で、「ジャストインタイムへの対応」が22.2%となっている。

外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

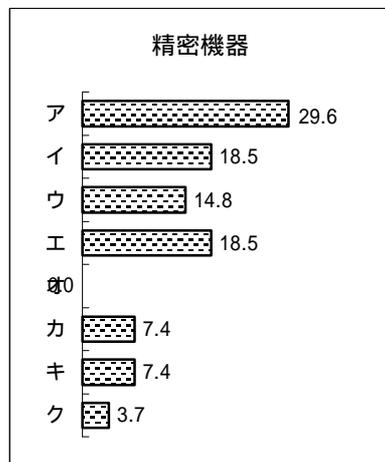
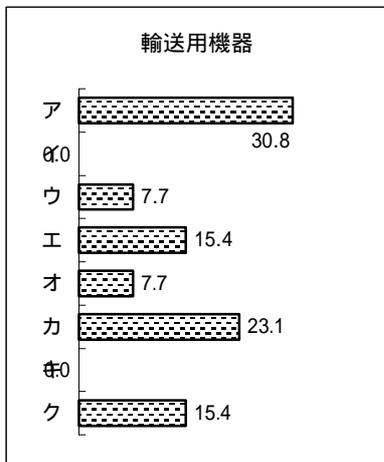
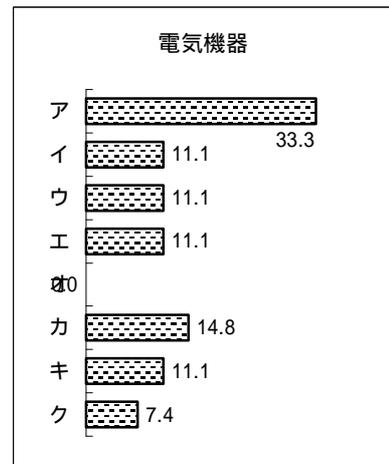
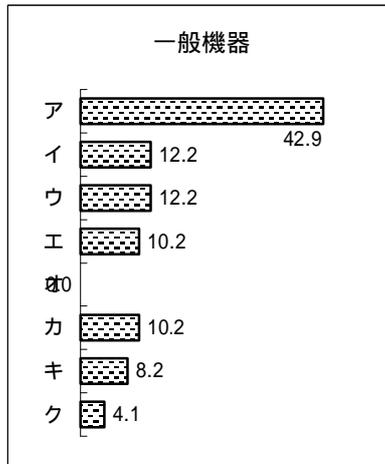
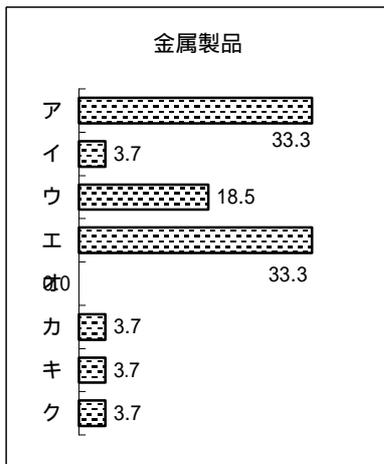
( 6 ) 新規外注先企業を探す場合の情報収集の方法について

【グラフ 9】



\* 重複回答 ( 回答数 143 )

グラフの項目	回答数
ア．下請企業からの営業活動	51
イ．財団（協会）からのあっせん	15
ウ．テクノフェア等の各種展示会見学	19
エ．情報誌、企業名簿等からの情報収集	24
オ．説明会を開催し、資材調達情報を公開	1
カ．インターネットホームページで資材調達先を公募	15
キ．財団（協会）開催による商談会への参加	10
ク．その他	8



\* 業種別回答数

機械製品	27
一般機器	49
電気機器	27
輸送用機器	13
精密機器	27
計	143

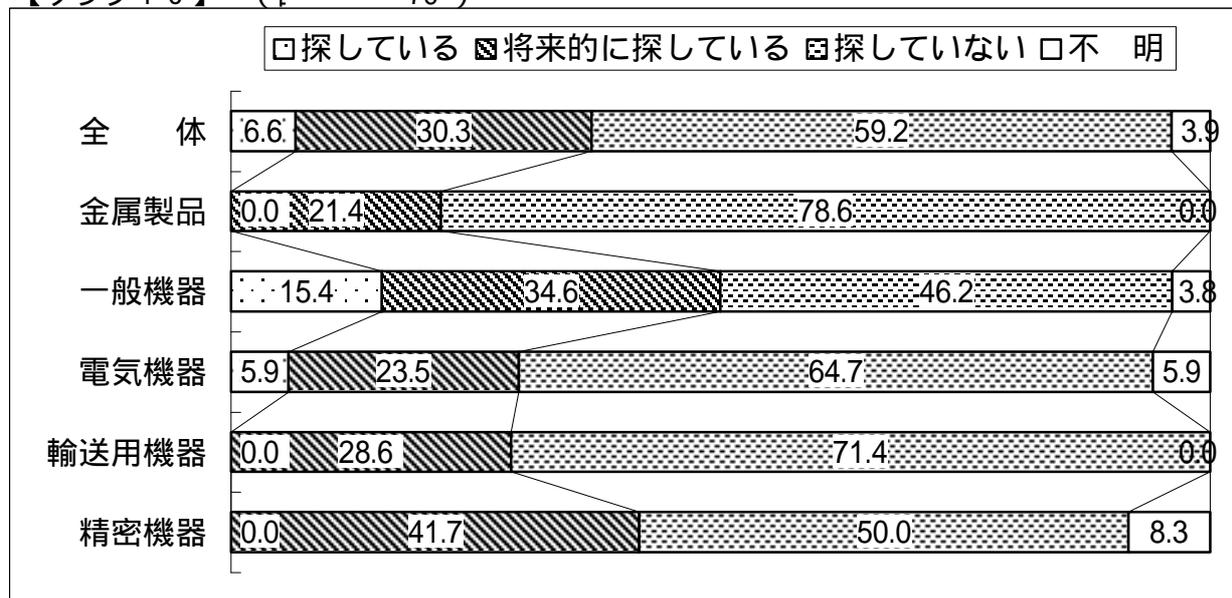
【新規外注先企業の情報収集について】

「下請企業からの営業活動」との回答が35.7%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が16.8%となっている。

現状では、外注企業自身の積極的な営業活動の重要性を示す結果となっており、受注企業の積極的な情報発信（企業名簿等への掲載、各種展示会への出展を含む）が重要であることがうかがえる。

( 7 ) 新規外注先企業の開拓について

【グラフ10】 ( [ 76 ] )



\* 業種別回答数

	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
探している	5	0	4	1	0	0
将来的に探している	23	3	9	4	2	5
探していない	45	11	12	11	5	6
不 明	3	0	1	1	0	1
合計	76	14	26	17	7	12

【新規外注先企業の開拓について】

新規外注先を「探している」「将来的に探している」とする企業が4割近くを占めている。

業種別では、「将来的に探している」ものを含めて、一般機器では5割の企業が、精密機器では4割余りの企業が、新規外注先をさがしている。

## 財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町1-34(京都府産業プラザ内)

TEL (075) 315 - 9234 / FAX (075) 314 - 4720 E mail : kikaku@ki21.jp

***<http://www.ki21.jp>***